

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
- ② 一問一答方式

質問件名 安心して暮らし続けるための介護について

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

現在、「小平市地域包括ケア推進計画(小平市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画)(2024～2026年度)」の策定が行われています。この期間にあたる2025年には、「団塊の世代」が全員75歳以上の後期高齢者になります。要介護高齢者は増加する一方、生産年齢人口は急減しており、国は、保険料や利用者負担の見直しをするなど、財源確保の計画の検討を行っています。

今後はさらに、高齢者の単身世帯や高齢者夫婦だけの世帯が増えます。今回の改正で保険料や利用者負担が増えれば、介護の利用控えによる身体の状態の悪化や施設に入りたくても入れないなどの問題が起きる可能性は否めません。このような状況が想定される中でも国は、第10期介護保険事業計画期間(2027～2029年度)の開始までに、要介護1・2の訪問介護・通所介護についても「地域支援事業」への移行を目指し、在宅サービスのケアマネジメント利用者負担の導入について結論を得るべきとしています。小平市で行ったアンケート調査では、自宅で暮らし続けることを望む人が最も多く、同居、近居の家族が介護を担うことになり、在宅介護を支えるためには、多様化する家族構成に対応したケアラー支援体制と生活の保障が必要です。また、制度改正による訪問介護事業所への影響や総合支援事業の介護報酬、ヘルパー不足などの課題もあり、地域で介護を支えるためには、国の制度に頼るだけでなく今こそ市独自の施策と地域のつながりが必要だと考えます。

安心して介護を受けながら、生活していくことができるまち小平として、介護保険制度改正についての認識と、進む高齢化における市の取り組みについて以下質問します。

1. 小平市地域包括ケア推進計画(小平市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画)の実施状況について
 - ① 高齢者あんしん相談窓口としての地域包括支援センターの機能強化と、その周知は進んだか。
 - ② 地域ケア会議の実施状況と成果は。
 - ③ 市が行っている介護予防や認知症支援リーダー・サポーター養成講座などの参加者状況は。また参加者が十分に活動できているかを市は認識しているか。
 - ④ ケアラーを支えるために市が具体的に行っている支援は。
 - ⑤ 在宅医療と介護の連携の推進状況は。
 2. 第9期の介護保険制度改正における利用者への影響をどのように想定しているか。
 3. 第9期の介護保険制度改正における訪問介護事業所への影響とヘルパー不足についての市の見解と取り組みは。
 4. 国が第10期介護保険事業計画で実施を検討している要介護1・2の地域支援事業への移行についての市の見解は。
- 上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2023年 8月 28日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名 柴尾ひろみ

受付番号【 】

27	26	25	24

(/)